

# サイクルライトゲート設置指導書

CLG-54型 仕様

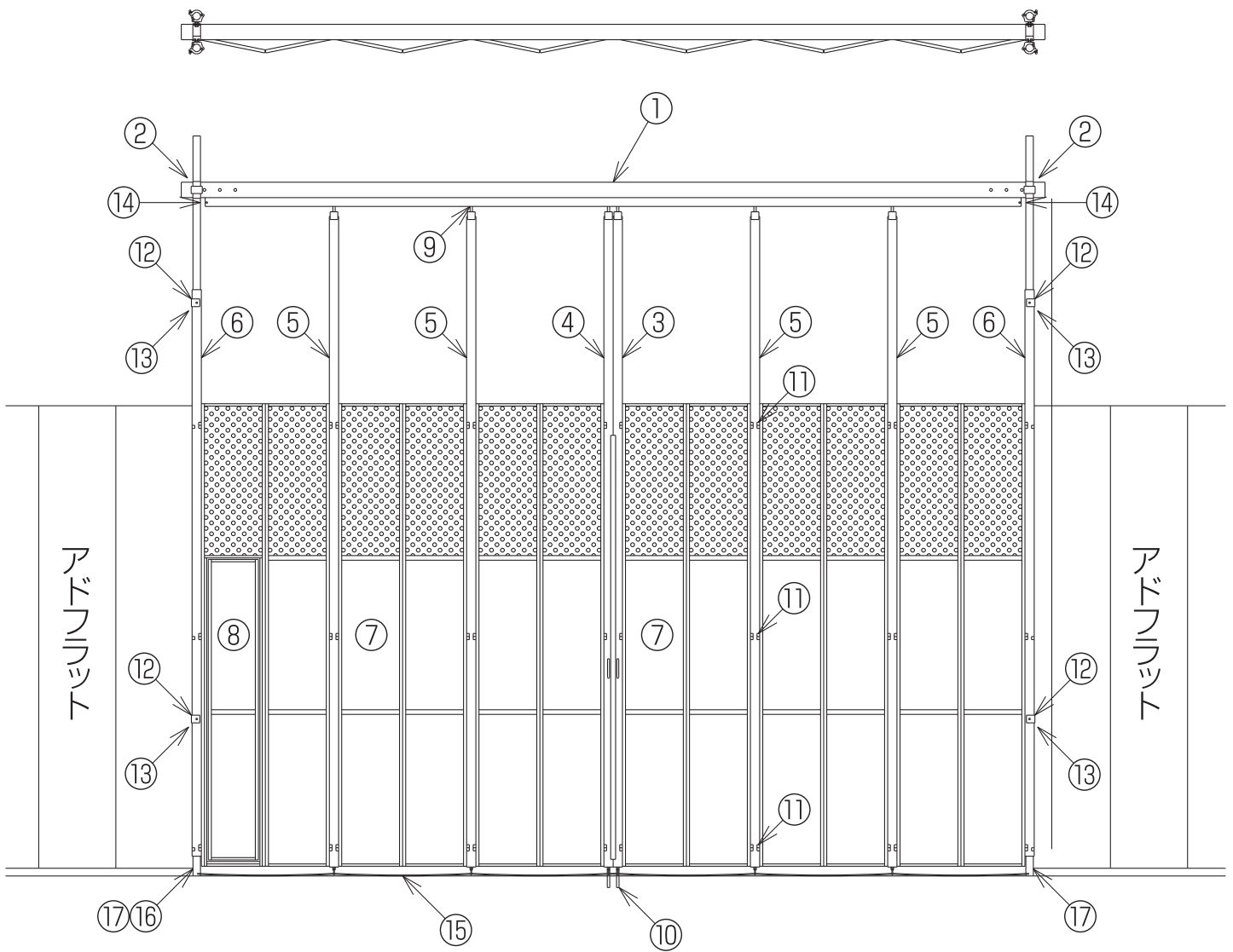
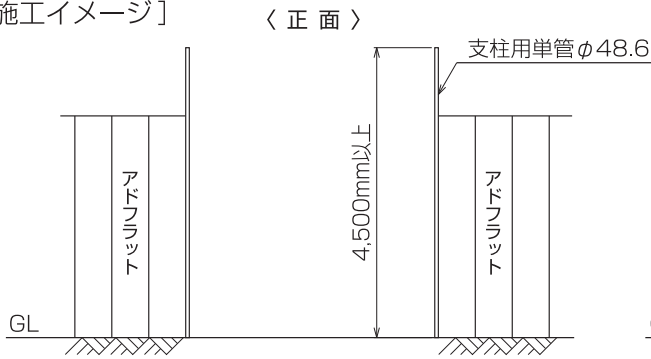


図1

[施工イメージ]



<断面>

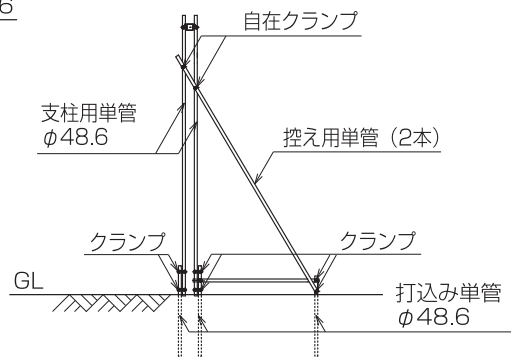
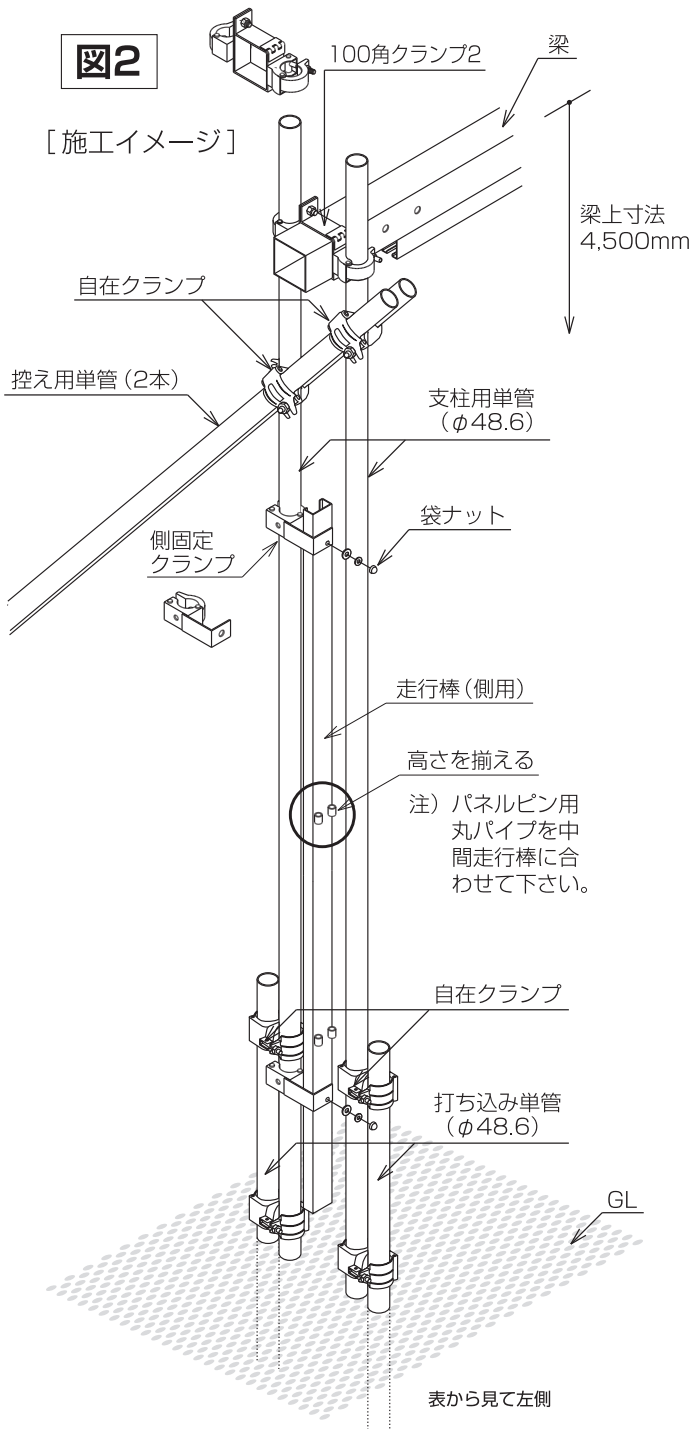


図2

[施工イメージ]



## 1. 支柱設置

支柱用単管を片側2本ずつ(計4本)設置し、H=4500mm以上を確保して下さい。(図1参照)

支柱用単管は転倒防止の為、控え用単管を片側2本ずつ(計4本)取付けて下さい。

支柱柱脚部には固定して下さい。  
(施工イメージにある、支柱単管の打ち込みは、柱脚部固定の一例です。)

※イメージ図は、一般的な施工状況を表しています。

## 2. 梁の取付け

梁の角パイプの両端に100角クランプ2を取付けて下さい。

単管に単クランプで梁上からGLまでH=4500mmに梁をセットして下さい。(図2参照)

### ◆注意◆

設置後100角クランプ2に支柱用単管をねじるなどの過大な荷重をかけないでください。

図3

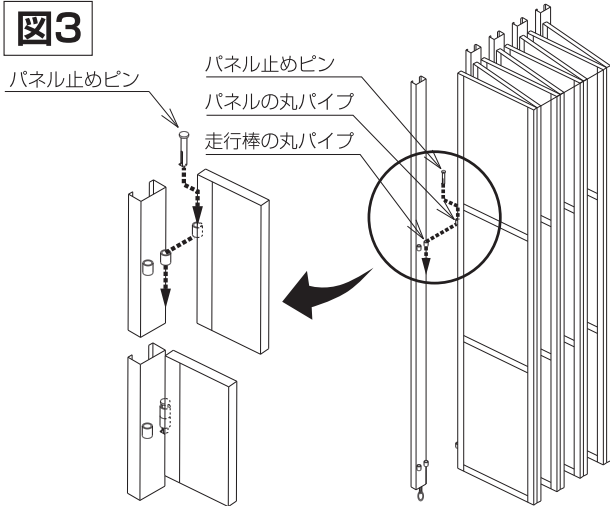


図4-1

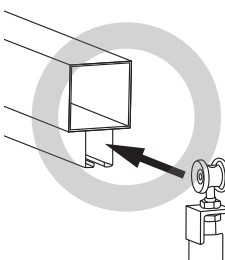
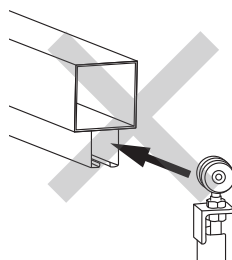
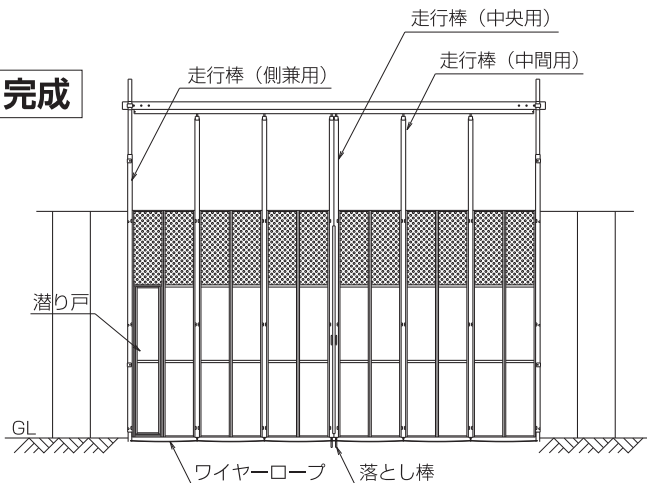


図4-2



完成



### 3. 走行棒の取付け

上部にセットされた梁のレールに走行棒を入れて下さい。

◆注意◆

行棒の車輪(吊車)をレールに挿入する際、向きを確認してください。  
 図4-1のように挿入し、確実にレールの溝に車輪が入るようにしてください。  
 レールの構造上、図4-2の向きに吊車がレールに挿入する場合があります。  
 そのままにしておくと、走行棒が動かずゲートの開閉に支障がでます。

入れていく順番は、まず走行棒(中央左右)を入れて、次にレールの両端から走行棒(中間)を入れて下さい。最後にレールの両端の穴に抜け防止用ボルトをセットして下さい。

走行棒(側兼用)に溶接されているボルトを側固定クランプの穴にボルトを通し、袋ナットセットで両端の単管にセットして下さい。

◆注意◆

パネルピン用丸パイプの高さを中間走行棒と揃えてください。

### 4. パネルの取付け

走行棒の丸パイプの上にパネルの丸パイプを重ねてパネル止めピンを挿して下さい。

### 5. ワイヤーロープの取付け

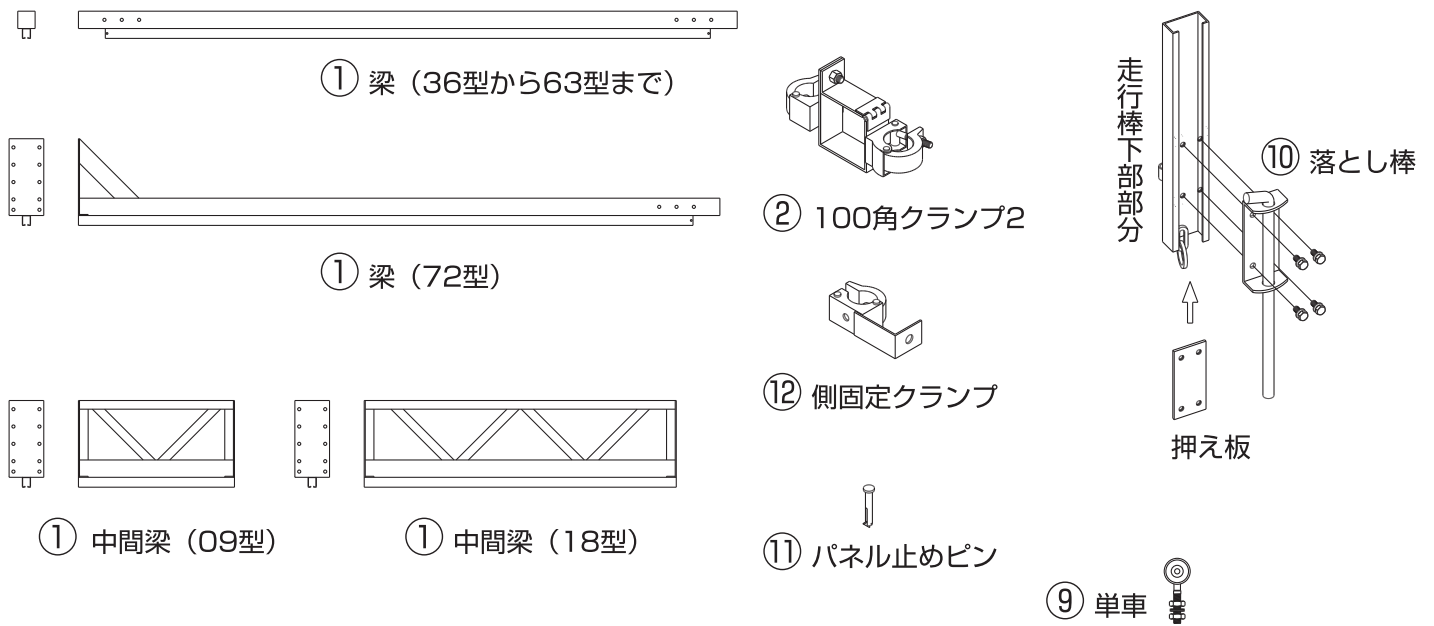
走行棒の下部に付いているリングに、ワイヤークリップとターンバックルでセットしてください。

※台風を含め強風時は、ゲートを開口しパネルを束ねて応急対応して下さい。

■ サイクルライトゲート用 部材表

No.	部 材 名	36型	45型	54型	63型	72型	81型	90型
①	梁 (はり)	1	1	1	1	2	3	3
②	100角クランプ2	2	2	2	2	2	2	2
③	走行棒/中央右 (取手・FB付き)	1	1	1	1	1	1	1
④	走行棒/中央左 (取手付き)	1	1	1	1	1	1	1
⑤	走行棒/中間用	2	3	4	5	6	7	8
⑥	走行棒/側兼用	2	2	2	2	2	2	2
⑦	パネル (中間用)	3	4	5	6	7	8	9
⑧	パネル (潜り戸扉付き)	1	1	1	1	1	1	1
⑨	単車 (3号プレス・SW・N付き)	4	5	6	7	8	9	10
⑩	落とし棒	2	2	2	2	2	2	2
⑪	パネル止めピン	24	30	36	42	48	54	60
⑫	側固定クランプ	4	4	4	4	4	4	4
⑬	袋ナット	4	4	4	4	4	4	4
⑭	ボルトナット (抜け止め防止用)	2	2	2	2	2	2	2
⑮	ワイヤーロープ (6ミリ) 単位 m	5.6	6.5	7.4	8.3	9.2	10.2	11.0
⑯	ターンバックル	1	1	1	1	1	1	1
⑰	ワイヤークリップ	4	4	4	4	4	4	4
⑱	ボルトセット (梁ジョイント用) 1/2×32	—	—	—	—	10	20	20

# 落とし棒の取付け図



落とし棒と單車は、走行棒に取付けている場合があります。

